



発行所  
札幌聖心女子学院  
札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1  
TEL (011) 611-9231

二〇二〇年度の学校のスタートは、四月に入學式・始業式こそ実施することが出来ましたが、その後、すぐに国の緊急事態宣言が出されたことにより、再び臨時休校に入り、自宅でのオンライン学習・課題の取り組みを続けることとなりました。毎朝、職員室で、修道院で、生徒のための祈りが捧げられる日々が続きました。そしてようやく、五月二十五日の創立者聖マгдаレナ・ソフィアの祝日から始まった分散登校を経て、六月から様々な感染防止対策を講じた上で、学校を再開することができました。

今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響が世界に及び、私たちの日常にかつてない変化をもたらす中、教育とは何か、学校とは何かを改めて考えさせられました。

今年度の学校教育目標のテーマは、「Reach Out ~ Reach Inside To Reach Out ~」心の深みに導く祈りと振り返り。心

を通過せ、想いを届ける分かち合い。夢を見つけ、夢を叶える日々の実践」です。

Reach Outとは「届く」ということです。自らの行動が、自分の夢に

## Reach Out

～想いをとどけ、夢にとどく～

校長 齊藤隆浩

届き、そして相手に届くことを目指していきます。そしてそれにはまず、自分の想いや夢を見つける必要があります。そのために、自分の心を深く見つめ直し、そしてさらに自分の心の奥深くにおられる、神様の想いを知るのです。そのことが後段の「Reach Inside To Reach Out」に込められています。呼びかけとして、次の四つがあり

ます。  
― 祈りとふりかえり、気付きで自分の心の深みに届こう。  
― 心を通わせ、お互いに分かち合おう。  
― 「決してあなたを置き去りにしない」というイエスの聖心（みこころ）の想いを届けるために、「誰も置き去りにしない」というテーマをもつ「SDGs」持続可能な開発目標」をささやかでも実行しよう。―  
― それぞれの夢に届くように日々を大切に生き、行動しよう。

四月の家庭学習中に三百枚のマスクを手作りして、保育園に寄付した生徒の笑顔や、五月末に、日本時間夜十時から深夜に及ぶ国連の「水と衛生、気候変動」に関するウェブセミナーにオンラインで参加し、目を輝かせて「興味深かった。」と語り、意見を表明する生徒の姿に頼もしさを感じました。

四月に赴任した私は、今まで自分が取り組んできた探究型学習がすでに札幌聖心では大きく実っていることに感銘を受けました。「様々な資料等を読み、その内容を整理分析して、自分の見解を述べる力」「日常生活の中で、身の周りにおける情報等を読み解き、それに対する自分なりの考えをもつ」、「担当の先生と相談しながら自分で見つけた『課題』」に対して、図書室や情報センター、またフィールドワークで情報を集め、それを分析し、論文にまとめ上げながら、お互いに発表交流する」など、オンライン授業中も続いていたこの探究型学習が、学校生活の中で再開され、中学三年生は、卒業研究の集大成に向かっていきます。私たち教職員は生徒のがんばりを全力で支えてまいります。今年度も本校の教育活動に対しまして、ご理解と大きなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 中一・高一 入学式・オリエンテーション

#### 待ち望んだ入学式

四月八日(水)に中学・高等学校合同入学式が行われました。教室も机も椅子も何もかもが新鮮で、当日はとても緊張しました。教科書や課題の多さに驚きましたが、自分が中学生になったというを感じました。初日はクラスメイトとほとんど言葉を交わすこともできませんでしたが、次の日には、周りにいたクラスメイトのことを知り、仲を深める

#### 新たな日常の始まり

新型コロナウイルスの流行による影響で、入学式は例年とは違い、オーケストラ部による入場演奏も少なく、少人数かつ小規模で行われました。それでも新しい仲間を迎え、無事に入学式を終えることができ安堵しています。

オリエンテーション等も短時間で行われました。しかしオンライン授業や、ネイティブの先生と一対一でビデオ通話をしたり、課題をネット上で提出したり、クラスメイトと近況を報告し合えたりする環境を整えてくださった先生方や両親に感謝しています。改めて自分がどれだけ周囲の方々に支えられているかを知る

ことができました。これから、上級生や友達、先生などの付き合い方や、基本的な学力など身につけなければならぬことがたくさんありますが、一歩ずつ成長していきたいと思えます。

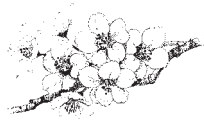
新型コロナウイルスの影響がある中でも入学式に参加でき、私は多くの方々の力に支えられているのだと感じました。このような難しい状況の時に自分ができることは何かというのを、札幌聖心女子学院で学べるといいなと思っています。

(中一 都筑 暖和)

良い機会となりました。

義務教育課程を終え、自らの行動にも一層責任が伴うことを自覚しました。今私たちに出来ることを考えながら、少しでも早く平穏な日常が戻ることを祈るばかりです。

(高一 大萱生琉衣)



今年度新たに迎え入れた教職員の方々をご紹介します。

- ① 名前
- ② 教科等
- ③ 自己紹介、ひとこと

- ① 齋藤 隆浩
- ② 校長
- ③ 4月に着任しました齋藤隆浩です。



校舎内に聖堂があること、宮の森に住む小鳥たちのさえずりが聞こえてくることで心が安らぎます。神様からお預かりした大切なお子さんを宝物として、魂を育て、知性を磨き、実行力を養う、聖心の教育理念を実現するべく、教職員そして保護者の皆様方と心を一つにして進んでまいります。

- ① 見永 博英

- ② 事務長
- ③ 皆さんの夢と未来を全力でサポートさせていただきます。



学院での日々が実り豊かになりますように。

- ① 新庄美重子

- ② 宗教
- ③ 聖心会のシスターです。この度、東京から札幌修道院に移ってきました。皆さんが聖心での学校生活を通して神様に愛されている自分を見出し、人に尽くす女性として成長できるようにお手伝いができたらうれしいと思っています。



今年度から皆さんと共に勉強していく事になりました、気持ちだけはフレッシュマンの細川です。スポーツ(特にバスケットボール、バレーボール)が大好きで涙もろいんです。これから皆さんと一緒にいろいろな活動の中で汗を流し感動していただけるかと願っています。

- ① 細川 隆
- ② 数学
- ③ 今年度から皆さんと共に勉強して



今年度から皆さんと共に勉強して



### 新たなアクションの始まり

## NY国連研修



二月十日(月)～十七日(日)に行われたNY国連研修は、様々な経験を通じて自らの視野を広げるきっかけを得ることができたとともに、内面的な成長を感じた一週間となりました。

国連NGO聖心会で、「聖心の教育の使命と国連の使命が重なる」というお話を聞いた後、国連本部での会議やツアーに参加しました。ホームレスについての会議では、ホームレスであった方の話に世界の代表者が聞き入っていました。

国連開発事務局では、難民高等弁務官時代の緒方貞子さんから影響を受け、イラク人の難民を養子にした方のお話を伺いました。「難民を助けるというより、難民と共に生きるのだ。」という緒方さんのお言葉は、私たちにとって、共生への強いメッセージとなりました。

日本政府代表部でのお話で、「我慢しながらすることは長続きしない」と言われ、聖心のスピリットである、物事の表面には見えない根っこの部分を大切にすることや、共生の出発点を愛に置いて実行していくことの大切さを思いました。

インドの聖心のシスターリタやユニセフでのお話から、世界の女性



差別や女子教育の必要などについて伺い、驚きました。国連広報局では、「皆さんは未来のリーダーでも、明日のリーダーでもない。今現在のリーダーで

す。」という講師の方のお言葉に強く心を動かされました。

NY聖心訪問、授業参観、NY聖心生とのボランティア活動、ホームステイ等の交流を通じて感じたことは、人種、文化、ことばの違いを感じない聖心の家族としてのぬくもりや、同年代の生徒との交流によってこそ得ることのできた新たな視点でした。

移民博物館、グラウンド・ゼロの見学は、現代のアメリカの根幹に通ずる事柄に目を開かれる体験となりました。

「この研修が終わりではなく、新たなアクションを起こしていく始まりなのだ」という思いを胸に、これから活動を行っていききたいと思えます。

最後に、Sr.Hoeffel、Sr.田口、鈴木先生をはじめ支えてくださった全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。(高二 加世田紗衣)

## 一人ひとりのスキルアップに繋がるオンライン学習

休校中の約二か月間、私たちはオンライン学習に取り組みました。毎日のようにレポートや授業の予習問題などの課題が送付され、それに取組み提出します。提出期限が近くと通知が来るので、期限を守って提出することができました。私は、短時間で済ませたいがビデオチャットで英語の練習をしました。普段の授業ではあまり発言することが出来なくても、ビデオチャットでは少人数のため遠慮なく発言することができ、その場で正しい英文を教えていたいただけるのでより内容の濃い学習が出来たと思います。オンライン学習が出来ることで、休校中の期間を無駄にすることなく、それぞれが自分自身のスキルアップに繋がる活動ができたのではないかと思います。

(高三 菅原 愛梨)



## オンライン学習を通して感じたこと



四月からの自粛期間、私たちは自宅でのオンライン学習をしてきました。先生方が作ってくださったテスト等にパソ

コンなどから答えを記入したり、問題集やノートを使う課題を画像として提出したりと様々な方法で幅広い課題に取り組みました。また、提出後は先生方からのコメント等を頂けるので、オンライン上でもコミュニケーションをとることができました。中でも私はビデオ通話が印象深かったです。全校生徒に向けての校長先生からのお言葉を伺ったり、LHRでクラスの皆と話したり、クラスメイトの誕生日を祝ったりといつもと違う状況の中、久しぶりに皆の声を聞け、顔を見られたので嬉しかったです。オンライン学習も充実していましたが、学校で皆と一緒に楽しく学べる幸せを感じる期間となりました。

(高二 瀬川こころ)

## ピア・サポート授業の報告

ピア・サポートとはピア(仲間)をサポートする(支える)活動です。カナダで始まったピア・サポートの取り組みは世界の国々に広がっており、日本でもピア・サポートを取り入れる学校が増えてきています。

札幌聖心女子学院では二〇一八年度にピア・サポートの授業を開始しました。現在は中学一年生、中学二年生、高校一年生がそれぞれ学年で年間八回程度の授業を受けています。今年度の新しい取り組みとして、中学三年生から高校三年生までの希望者を対象にピア・サポートワークショップを放課後に行います。

ピア・サポートの授業で行っているトレーニングと感想のいくつかを紹介いたします。

「プラスのストロークを贈ろう」全員が二重の円になって向かい合い、向かい合った相手のよいところを20秒間褒め続ける。お互いに褒め合ったら、次の人と交代して、また20秒間相手を褒め続ける。

〈感想〉☆お互いが笑顔になって心がポカポカしました。☆褒める言葉を全員に言ってあげたかった。☆人の良いところを言うことが、どれほど大切かわかった。☆人生捨てたもんじゃないと思った。☆困っている人がいたら、優しい声かけをしたい。

「積極的な聞き方」ペアになって、えらそうな話の聞き方、関心のない話の聞き方をロールプレイで体験した後、相手に関心を示す積極的な話の聞き方(FEELOR)について学び、実際に体験する。

〈感想〉☆FEELORで聞いてもらったとき、温かい気持ちになり、心地よかった。☆嫌な聞き方も体験できたので、人のことも考えられるようになった。☆話の聞き方は大事だと改めて思った。☆今まで自分は人の話をしっかり聞けていると思っていたが、そうではなかったことがわかった。

「気持ちを読み取る」グループに分かれて、感情の伝言ゲームを行う。言葉を使わずに怒り・悲しみ・喜びなどの感情を伝えていく。①表情で伝える②握手で伝える③ぬくもりで伝える④口調で伝える

〈感想〉☆人の気持ちを読み取るのは難しいけど、だからこそその力をつけて優しい心で接したい。☆これから友達がどんな気持ちなのかを察して行動したい。☆気持ちを伝え合うことで、どんどん仲良くなれたらいいな。☆気持ちを言葉で相手に伝えられない人の気持ちも考えられた。☆困っている友達を見たら、話を聞いてあげたい。

このようなトレーニングを積み重ねた後には、マイピア・サポートプ

ランという自分のピア・サポート活動プランを立てて実行します。

年間のピア・サポート授業を終えた生徒たちがこのような感想を述べています。☆ピア・サポートの授業が終わった後はいつも気持ちが明るくなっていることに気づきました。

これからもピア・サポートを続けていきたいです。☆ピア・サポートの授業を通して人の心に寄り添えるようになったかなと思いました。これからも仲間をサポートしていきたいです。☆仲間が多いと問題も多いけれど、それより支えあえるから仲間が多い方がいいなと思った。誰も一人にしないので学校生活を送りたい。

将来的には、日本ピア・サポート学会公認ピア・サポーターの資格を取る生徒が出ることも目指しています。何より、このピア・サポートの活動を通して、「誰も一人にはしない」というイエス様の聖心を生徒一人ひとりに実感してほしいと願っています。(教諭 渡部 公代)



## 二〇二〇年度入試合格大学一覧

卒業した五十二回生三十一名と過年度卒業生の合格大学を次に掲載します。(人数の記載のないものは一名)

## 【聖心系】

聖心女子大学(現代教養学部)十二名

## 【道外私立大学】

聖マリアンナ医科大学

(医学部・医学科)

上智大学(法学部)(経済学部)

明治大学(法学部)

立教大学(経営学部)

中央大学(経済学部)(文学部)

同志社大学(文学部)

神戸女子学院大学(人間科学部)

東洋英和女学院大学

(国際社会学部)(人間科学部)

## 【道内私立大学】

天使大学(看護栄養学部)

藤女子大学(文学部)(人間生活学部)

東京農業大学(生物産業学部)

## 【専門学校】

札幌放送芸術&ミュージック・ダンス専門学校(パフォーマンスアート科)

## 【過年度生】

札幌医科大学(医学部・医学科)

獨協大学(経済学部)

青森大学(薬学部)

天使大学(看護栄養学部)

北海道医療大学(薬学部)

日本赤十字北海道看護大学(看護学部)

北海道武蔵女子短期大学

(教養学科)(英文学科)(経済学科)